

緑化活動のうわさの真相

大野は森林が多いで
二酸化炭素の心配しなくていいよね？

木は成長時に多くのCO₂を吸収します

福井県の中でも森林面積の多い大野市では、森林によるCO₂吸収量を増やすために森林整備や維持管理を適切に行っていくことが大切です。

成長期の若い森林では、樹木はCO₂をたくさん吸収して成長します。これに対して、成熟した森林になると、吸収量と呼吸量の差が次第に小さくなり、差し引きの吸収能力は低下していきます。成熟した森林を建築の材料や木質チップとして使用し、常に成長し続ける森林にしていくことがCO₂吸収量の増加につながるのです。



▲大野市役所の薪ストーブ



市の取り組み

おおの森づくりプラン

大野市の森林面積は75,825haと市の総面積の86.9%を占め、県内の森林面積の24.3%を占めています。その広大な森林により、大野市のCO₂吸収量は150.4千トンにもなります。この吸収量を減らさないようにするためには、「伐って、使って、植えて、育てる」という循環利用を確立し、木材利用の拡大を図ることが重要です。

「おおの森づくりプラン」は、大野の森林整備や森づくりの方向性を示すことで、森林を持続的かつ効率的に利用し、豊かな森を次世代へ受け継いでいくことなどを目指しています。



市役所の薪ストーブ

大野市役所には大きい薪ストーブが2台設置されています。バイオマス燃料の活用を広め、間伐材の利用を促進するため、また訪れた方に安らぎを与えるために毎年稼働しています。

うらら館の木質バイオマスボイラー

令和6年に、既存の重油ボイラーから温室効果ガスをほとんど排出しない、木質バイオマスボイラーに更新しました。



木の薫る遊び場事業

国産材を用いて製作されたおもちゃ、遊具の導入や、県産材を用いて製作された什器の導入を支援しています。

